

事務事業名		緑の少年団支援事業			会計	一般会計				
H27担当課等名		林務課		H27係等名	里山保全係		H26係等名	里山保全係		
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり						
		施策	54	自然とのふれあいと環境学習の推進						
目的	対象(誰・何を)	児童			対象指標	指標名及び単位			26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	森林・林業の重要性を理解してもらうとともに、団体活動での体験を通じて心豊かな人間性を育む				緑の少年団数(団体)			6	
	向上させたい上位施策の成果指標	自然とふれあいを持ったことのある市民の割合								
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	飯伊地区交流会参加・活動団数(団体)			6	6	6	6		
	定性目標									
事業概要	市内6小学校(緑の少年団)への活動補助 <参考>細々目名:森林環境保全推進事業費(千代小学校・千栄小学校・上久堅小学校・三穂小学校・上村小学校・和田小学校)									
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	市内6小学校(緑の少年団)への活動補助 <参考>細々目名:森林環境保全推進事業費(千代小学校・千栄小学校・上久堅小学校・三穂小学校・上村小学校・和田小学校)				活動回数			72回		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		300	300	300	300					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源		300	300	300	300					
人件費計(千円)②		358		358						
正規職員所要時間		100		100						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		658	300	658	300					
事業内容・目標達成状況の振り返り	各少年団の活動が計画通りに実施され、より良い体験活動ができているが、学校現場の受入れ態勢が課題。									
改革改善の考え方	①問題点	現在、6少年団が森林に触れ合う活動や飯伊地区交流会に参加しているが、新たな団の設立が無い状態である。								
	②改革提案	地域と一体となった活動、地域の支援を今以上に行っていく必要がある。								